

3 体験メニュー

＼探究学習に最適！／

BSC自然共生プログラム



——ネイチャーポジティブな未来を描く、探究プログラム。

比良山系と琵琶湖が育む自然資本を舞台に、地域の資源循環に参画する探究プログラム。3つの体験の中から興味関心のあるテーマを選択して、環境と経済が共生する“ネイチャーポジティブ”な未来を構想します。

①「ヨシ」でエコストロー作り体験

🕒 1.5時間～ 👤 80名

✓ 探究テーマ：地域で余った資源を「宝」に変える価値創造と社会実装を学ぶ

琵琶湖の生態系を支える「ヨシ」は、現代において活用先を失い経済循環に回らないという社会課題を抱えています。そこで、立命館大学の学生によるアイデアで「ヨシストロー」として新たな価値が吹き込まれました。地域の資源をいかに価値化し普及させるか、大学生の社会実装へのプロセスを学びながら、自分たちの地域課題について考えます。



導入・課題理解 (10分)	プラスチックごみ問題の現状について学習します。自分たちの生活とのつながりを構造的に理解します。
資源の再定義 (10分)	立命館大学の学生による、未利用資源を価値ある素材へ転換させたアイデアと発想法を学びます。
製作・比較検証 (40分)	ヨシを使ったストロー製作に挑戦。また、プラスチックや紙ストローとの比較検証や満足度調査を実施。
普及可能性の探究 (10分)	単に作って終わりではなく、普及に向けた解決策やアイデアをグループで探究し、発表します。



NEW!

②「タデアイ」でびわ湖ブルー藍染め体験

🕒 1.5時間～ 👤 40名

✓ 探究テーマ：琵琶湖の自然資本と藍染めから学ぶ、地域循環と伝統文化体験

BSCで育てた天然資源「タデアイ」を使い、伝統的な技法を使った藍染めに挑戦！藍だからこそ生み出せる「びわ湖ブルー」を抽出して、世界に一つだけの柄を描きます。琵琶湖の恵みを五感で受け取りながら、地元ならではの伝統文化について学びます。



種まきor収穫 (20分)	BSCで育てる「藍」の収穫もしくは種まきを通じて、比良山系の寒暖差が藍の色素を高める仕組みを学習。
染料の抽出 (20分)	収穫した藍の葉っぱを煮込んで、染料を抽出します。伝統的な技術工程を学びます。
染色体験 (40分)	抽出した染液に素材を浸し、空気に触れることで鮮やかな「びわ湖ブルー」へと変化する過程を楽しみます。
仕上げ (10分)	水洗いして模様を確認。1つとして同じ柄はできないので、世界に1つのオリジナルデザインの完成です！

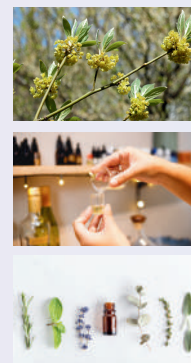
NEW!

③「クロモジ」でルームスプレー調香体験

🕒 1.5時間～ 👤 40名

✓ 探究テーマ：滋賀の森と琵琶湖の水循環から学ぶ、自分だけの香りの探究

琵琶湖の水と生態系の原点は、県土の半分を占める山々にあります。そこに降る雨の一滴一滴は、約460本の川を経て琵琶湖へ注ぎます。BSCの目の前にそびえる比良山に自生する香木「クロモジ」を、森に負荷をかけない方法で摘み取って芳香蒸留水にします。好みに合わせて調香した「ルームスプレー」は、まさに山やびわ湖の香りそのものです。



導入・蒸留実演 (20分)	クロモジの生枝を折って香りを体感。目の前で芳香蒸留水を抽出し、山から琵琶湖への水循環を学ぶ
試香 (20分)	エッセンシャルオイル10種（ユズ・ヒノキなど和の香りを含む）をムエットで試し、印象を記録
調香・瓶詰め (40分)	精油が合計10滴になるようにブレンドを設計。スタッフ確認後に滴下し、50mlのスプレーに。
命名・仕上げ (10分)	自分の香りに名前をつけ、手書きラベルを貼って完成！

※写真はイメージです